

第1回山北町総合計画審議会 議事録

日時 平成30年6月14日(木) 10:00～

場所 山北町役場4階 401会議室

1. 開会

事務局 只今から、第1回山北町総合計画審議会を開会します。私は本審議会の事務局を務めさせていただいております、企画政策課の瀬戸と申します。よろしくお願いいたします。本日の会議の進行につきましては、私のほうで務めさせていただきます。はじめに、本日まで出席いただいております委員の皆様におかれましては、審議会委員を快くお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。この場を借りて御礼を申し上げます。それでは開会にあたりまして湯川町長よりごあいさつを申し上げます。

2. 町長あいさつ

町長 皆さんおはようございます。大変お忙しい中、第1回の山北町総合計画審議会にご出席くださりましてありがとうございます。第5次総合計画ですが、基本構想が10年、前期基本計画が5年となっており、これから後期5年の基本計画を審議していただきます。第5次総合計画では、基本理念を「自立、協働、活力」、将来像は「みんなでつくる魅力あふれる元気なまちやまきた」ということで、作らせていただきました。また、2つの重点プロジェクトとして、「町民力・地域力を発揮するプロジェクト」と「若者定住・子育て支援プロジェクト」を位置づけまして、進めさせていただいております。本年度は、前期基本計画の最終年度でありますので、検証・見直しを行いまして、後期基本計画を策定したいと思っております。前期の5年間を振り返りますと、新しい企業の進出、商業施設や飲食店のオープンなどが相次ぎまして、また鹿島山北高等学校の開校や、新東名高速道路の工事といった、まちの活性化につながるような新たな取り組みが行われ、以前とは違ったまちの賑わいや人々の活気が少し感じられるようになりました。後期基本計画では、この点と点をつなぎまして線にして、まち全体、面に広げていければありが

たいと思っています。ぜひ皆さんの今までのご経験等を活かしていただいて、よりし
っかりした計画にしていいただければと思います。本日は長時間になりますけれども、
よろしくお願いいたします。

3. 委嘱状交付

町長より各委員へ委嘱状を交付

4. 委員自己紹介

各委員による自己紹介

5. 会長の選出

山北町総合計画審議会規則に基づき互選

・出雲明子委員を会長に選出

6. 会長職務代理者の指定

委員により互選

・清水明委員を会長職務代理者に選出

7. 山北町第5次総合計画の諮問

町長より会長へ諮問

8. 議題

(1) 会議の公開について

・事務局より説明

事務局 資料、名簿、議事録（個人名なし）を公開したい。

会 長 会議自体は公開するのか。

事務局 会議は公開しない。

会 長 意義なしと認め、資料、名簿、議事録を公開することとする。

(2) 第5次総合計画後期基本計画の策定について

・事務局より説明

会 長 説明に不明な点はあるか。

事務局 地方自治法の改正があり、総合計画の策定義務はなくなり、議会の議決も不要になった。しかし、本町では条例により基本構想を議決案件と決めた。そのため、基本構想を修正する場合は議会の議決が必要になる。

委 員 議会の議決が必要な変更を行う予定なのか。

事務局 原則として議会の議決が必要な変更を行う予定はないが、基本構想を変更した場合は議決が必要ということになる。

会 長 基本構想の数値等、時点修正はするが、文章などは変更しない方向、ただし、基本計画には指標があり、上方修正や差し替えなども想定されることから、基本計画は変えていくと理解した。

委 員 この計画は大切だと思っている。特にこの5年は数字もしっかり見ていかないとけない。元気なまちづくりのためにしっかりと位置づけが必要。

委 員 基本計画の中で考えていけばよいのではないか。

委 員 前期基本計画の見直しや検証が重要になる。

事務局 後期基本計画は第6次の計画につながらなければいけない。直すものは修正して第6次に向かう。前期基本計画の検証結果によっては、基本構想も見直さざるを得ない場面が出てくるかもしれない。今後皆様のご意見をいただきたい。

委 員 第6次を見据えた計画づくりが大事になる。

会 長 将来フレームなどは変わるのか。

事務局 基本構想では、平成35年に11,000人という現実性のある目標にしている。5月31日現在10,432人となっており、計画として適当な数字と考えている。

委 員 日本工業新聞では、平成45年に4,800人という数字が出ている。定住促進や若者支援の効果は検証が必要。人口の下落率は神奈川県で一番大きい。このあたりもしっかり議論すべきではないか。

事務局 夢は大事だが実現不可能ではいけない。今後議論していきたい。

委 員 人口も議論が必要ではないか。

会 長 基本構想は包括的に書かれているので大きな変更は必要ない。人口については

多少議論があるかもしれない。

事務局 人口フレームに関して、変える変えないは別にして、次回は人口関係の資料を提示する。

委員 人口状況について住民の意識を高めることや、若者定住についての具体策が必要になる。

事務局 住民にはアンケート調査を実施し、ご意見をいただくことにしている。

委員 人口は数字をある程度修正するくらいで人口減に対する微修正をすればよく、数字をあまり変える必要はないのではないかと。基本計画で対応していけばよいのではないかと。

委員 後期基本計画を策定するのがこの会議。アンケートだけではわからないので、ここの委員の意見を入れていくことが大事。行政主導でやるのか、コンサルを入れてやるのか、住民主導でやるのか。

事務局 庁内会議も開催しており、平行して進めていきたい。

委員 議会や住民に説明するとき、変更しなかったとしても、ここでこういう議論をしたという過程が大事になる。

委員 計画が大きく変われば基本構想も変わるかもしれない。今日はとても決められない。今後テーマを絞って進めてほしい。

事務局 基本構想に強い影響を与える検証結果であれば基本構想についても検討が必要になる。検証結果はまた提示する。本格的な議論は次回からになる。

(3) 今後の予定について

・事務局より説明

委員 この会議は回数の制限はないと思うので、あと3回ではなくたくさん開いてほしい。

委員 計画案は11月になっているが、次の審議内容は早めに周知してほしい。3月に答申となっているが議会の対応はないのか。

事務局 資料2スケジュールの10、議会説明を実施してから答申になる。

委員 検証結果をいかに反映するかが大事。次回が素案の検討になっているがそれでもいいか。9月の議会全員協議会には何を説明するのか。

事務局 素案の手前なので検討状況の説明になる。

- 委員 全員協議会なのでもっと具体的に進めないといけないのではないか。
- 事務局 前期基本計画のときも審議会をたくさん開催した。4回で終わるとは考えていない。資料はなるべく早くお届けする。全員協議会では検証結果も報告することになる。
- 委員 まちの将来を決めるのだからこの会議に検証結果を示し、議論しないとけない。具体的な意見交換が必要。
- 委員 検証結果が出たら一度会議が必要ではないか。
- 委員 11,000人の計画でもよいが、老年人口が増えてしまうと、バランスのとれた人口構成とは大きく違ってくる。その中で政策づくりもするのだが、きちんとした検証結果が出てくるかが大事。
- 事務局 身内に甘い検証結果にならないように各課へ指示している。
- 会長 今までの総括を行い、その後素案の検討という流れを考えてもらえないか。
- 委員 何でも役場の示したもので決定するのならこの会議はいらない。
- 事務局 必要に応じて議論していくようにする。
- 委員 住民は人口推移を気にしている。
- 委員 10月の素案は様々な結果を踏まえて出てくる。皆さんの意見の反映を考えると先に1回会議をしたほうがよい。
- 事務局 検証は現行計画のp36、37のレベルで実施しているところ。その結果を踏まえた素案をお示したほうがわかりやすいと考え、スケジュールを作成した。資料では素案となっているが素々案くらいのものになる。できるだけ早く調査結果等をお示していく。
- 委員 生のデータを見せられてもわからないので、結果を分析し、問題点を抽出したものを出してほしい。
- 委員 この会議は1回に何時間行う想定か。
- 事務局 会議の時間は特に決めてはいないが、効率的かつ集中的に会議を進めていきたい。
- 会長 検証の結果と素案は分けて検討する。資料は事前に配布する。質問や意見もできるだけ事前にもらう。そのような進め方を事務局で検討してほしい。

(4) その他

事務局 アンケート結果、検証結果は、事前に委員にお示しする。

9. 閉会

事務局 以上を持ちまして、第1回山北町総合計画審議会を終了します。